

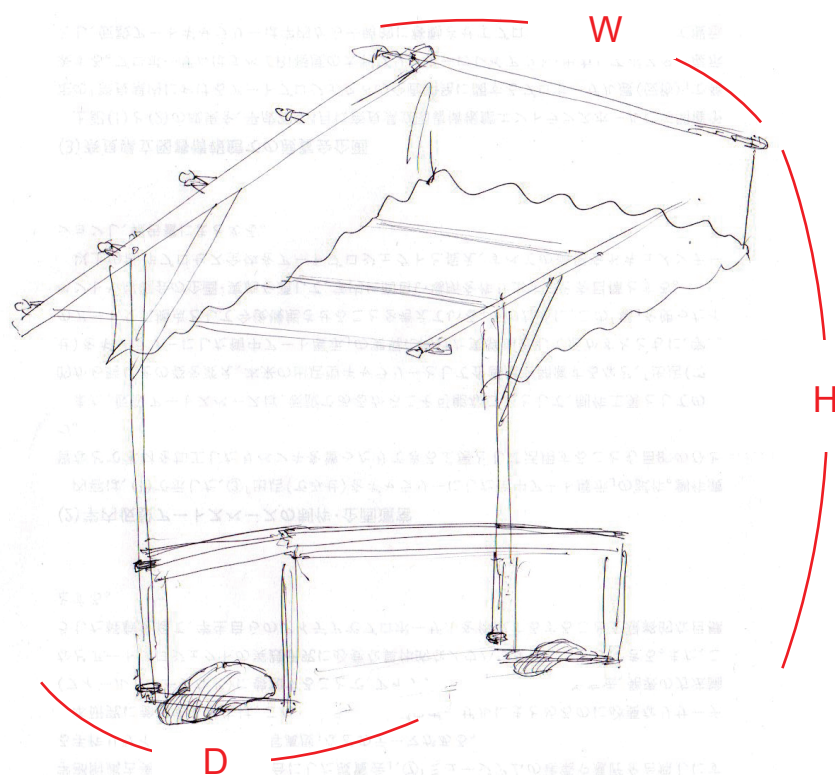
出店型の仮設アートスペースについて

1) 概要

出店型の仮設アートスペースは、木材を加工したりペンキを塗ったりできる工房として活用する他、仮設のギャラリーとして企画展を開催するなど、学内のアート交流拠点として機能させることを目的としている。

2) サイズ

下記の三種類(各1個、計3個)を予定
H2600×W1800×D2500mm(小)
H2600×W2700×D3000mm(中)
H2600×W3600×D3000mm(大)



完成イメージ

3) 設置場所



小と中を設置



大を設置

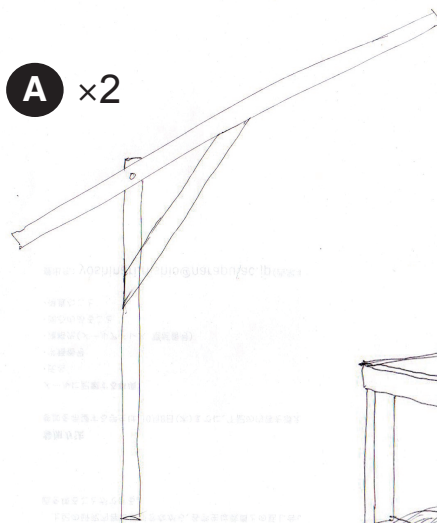
4) 構造

実際の出店と同じように、パーツを組み合わせることで簡単に設置、解体が可能なものとする。

① パーツ

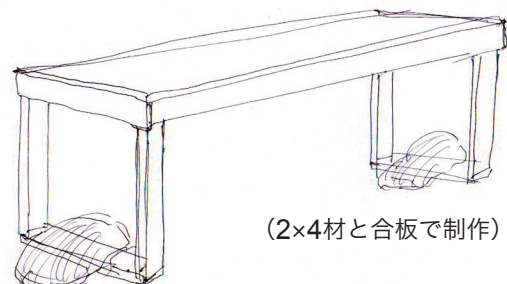
パーツは、右図のA、B、Cと、ターポリンの天幕とのれんから成る。

A ×2



(2×4材または垂木で制作)

B



(2×4材と合板で制作)

砂袋 or 70kg?

C



(伸縮式の干し竿)

×5~6本

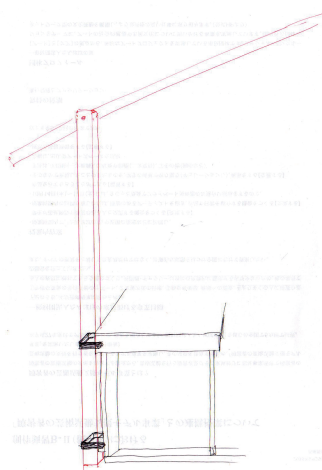
② 組み立て方法

AとB:

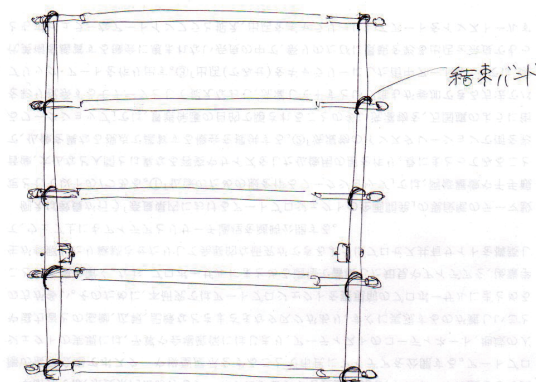
Bのテーブルに取り付けた金具にAを通して固定。

AとC(天上面):

結束バンドまたはロープで固定。



AとB



AとC(天上面)



伸縮式の干し竿をロープで固定

金具に支柱をはめて固定

実際の出店も、上述の方法で組み立てられている

5) 利用方法

① 通常時(制作工房として利用する場合)

天幕を外しておくことで風の通り道を確保しておく(転倒や崩壊の防止)。

出店内部には作品や工具類を保管しない(作業をするときに持ち込んで利用する)。

台風などの予報の際は、事前に構造を解体しておく。

② イベント時(展示スペースなどに利用する場合)

天幕を取り付けた状態で、内部に作品などを設置(複数日にわたるイベントの場合、夜間は天幕を外し、作品は一度撤去する)。